



学校通信

令和6年 3月 1日
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎
(第12号)

学校経営にあたって

校長 岩下 桂郎

2月6日(火)には、雪のため安全を考慮し休校とさせていただきました。この日以外には、4月中旬のような暖かさもあり、2月の気温は三寒四温という言葉どおり、かなり変動が激しい日々でした。

今年度は「幼児・児童・生徒を確かに育てるために」「地域と共に伸びゆくために」「教職員の資質向上のために」の3点を柱とし、それぞれの分野で目標をたて、学校経営を進めてきました。特に、「幼児・児童・生徒を確かに育てる」という点においては、これまで制限されていた宿泊や交流行事を再開し、教育活動の幅を広げることができました。その成果は、授業参観や運動会、寄宿舎での夏の開舎などでご覧いただくことができました。

足立区、葛飾区、江東区で実施した「見え方相談会」では、「見えにくさ」により学習に困難がある小学生60名に対して視力や見え方の評価を行い、改善について相談支援をおこないました。視覚を支援するノートの紹介から相談できる関係機関との連携など、それぞれの「困り感」に応じたサポートを提供しました。

教職員にはICT機器を活用するための研修会を実施しました。あまり得意でない教員も参加し、職員室ではデジタルサポーターへの相談が増えました。今後も子供たちに最適な学習ツールを提供できるよう取り組んでいきます。

それぞれの取組において一定の成果が出ており、学校評価でも多くの項目で肯定的な評価をいただきました。さらなる充実した教育活動を展開するため、次年度の学校経営計画を策定し、実行していく所存です。今後とも御支援をよろしくお願いいたします。

「親子リトミック」

2月1日、「親子リトミック」を開催しました。参加対象は、在籍幼児の親子と、乳幼児教育相談の親子で、お子さんの年齢によって2部に分けて実施しました。「子どもの城合唱団」の高谷温子先生、林あづさ先生を講師にお招きし、ピアノや歌に合わせて、楽しく体を動かしました。

ピアノに合わせて歩いたり走ったり止まったり、歌に合わせて楽器を鳴らしたりしました。また、お話リトミックでは、ストーリーに合わせて、手足や体を動かしました。お話に出て来る動物の会話や動きを真似して楽しみました。

親子で楽しいひと時を過ごしました。



(幼稚部 長塚修一)

